

多高通信

第120号 平成27年7月23日発行

水泳部東北大会出場！

6月26日から28日にかけて水泳の県総体が行われ、遠藤朱莉さんが飛び込みで、伊藤美穂さんが800m自由形で、東北大会出場を果たしました。遠藤さんは3年連続の東北大会出場です。おめでとう！



伊藤美穂

(水泳部部长 3年1組 多賀城二中出身)
高校生になって初めて東北大会に出場することが決まり本当に嬉しく思っています。昨年の高総体で悔しい思いをしてから1年間、練習を頑張ってきたよかったです。東北大会までに課題を克服し、自己ベストを出せるように頑張ります。また、日頃支えてくださっている皆さんに感謝の気持ちを忘れずに泳いでいきます。

遠藤朱莉 (3年1組 多賀城二中出身)

県大会では落ち着いて自分の力を出し切ることができ、自己ベストを出すことができました。最近の練習では上手くいかないことが多く不安があったのですが、結果を残すことができてよかったと思います。東北大会でも練習の成果をしっかり発揮できるように、大会まで一生懸命練習に取り組みたいと思います。

ラグビー部・弓道部 大舞台へ

東北大会・国体 選抜選手に！

ラグビー部3年の我妻言君、安孫子萌人君、坪田海見君、屋代崇行君の4人が、8月に長野県の菅平で行われるコペルコカップに東北選抜チームとして出場します。また、弓道部の土生木愛華さんが、岩手県で行われる東北総合体育大会(ミニ国体)の宮城県代表チームとして出場します。

我妻言

(ラグビー部部长 3年6組 西山中出身)
8月に菅平で行われるコペルコカップの東北代表チームに、多高ラグビー部から4名が出場することになりました。この全国大会で、個々のレベルアップを図り、チーム

に戻ってからの練習や試合で活かせるようなプレーや戦い方、精神を学んできたいと思います。応援よろしくお願います。

土生木愛華 (弓道部 3年5組 岩切中出身)

8月22日・23日に岩手県で行われるミニ国体に出場することになりました。昨年の新人戦が終わってからのつと、国体選手になるために多くの錬成会や選考会に参加してきました。国体選手に選ばれて嬉しい反面、県の代表ということで大きなプレッシャーも感じています。私は最後の高総体で力を発揮しきれずに悔しい思いをしました。その高総体のときと同じ落ち(チーム最後の射手)というポジションで国体に出場します。落ちの最後の一本は重要だということをこれまでの大会でも痛感しています。

ミニ国体では一本一本を大切に、自信を持って自分らしい射でチームに貢献したいと思います。本国体に出場するために、まずこのミニ国体で優勝を目指してチームの皆と力を合わせて戦って行くので応援お願いします。

熱戦！ 球技大会

7月2日・3日の2日間、本校三大大行事のひとつである球技大会が行われました。各種目の優勝と総合成績の上位3位を3年生が独占し、上級生の力を存分に発揮していました。一方、初戦で3年生と当たった1年生が見事3年生を破る試合も見られ、学年の枠を越え大きな盛り上がりが見られました。

種目ごとの優勝クラス

バレーボール	男子 3-3	女子 3-2
バスケットボール	3-1 男女アベック優勝!	
サッカー(男子)	3-5	
ドッジボール(女子)	3-5	
総合成績		
優勝	3-1	準優勝 3-5
		第3位 3-7

佐藤優希

(球技大会実行委員長 3年5組 利府中出身)
今年が多賀城高校40周年ということで例年とは少し違ったことをしてみたいと思ったのですが、いざ準備に取り掛かってみると、そもそも例年通りに運営す



ること自体がとても難しく、先生方の対応力と存在の大きさを改めて実感しました。そして何よりも、このやりがいのある仕事に携わることができ、たくさんの方の協力で行われ、それを生徒全員が団結して楽しむ球技大会という行事の委員長になることができたことを誇りに思います。

頼りない委員長でしたが、最後までついてきてくれた実行委員の皆さん、先生方、会場設営や運営を手伝ってくれた部活動の皆さん、ありがとうございました。

試合前は敵・味方関係なく全員で円陣！多高名物の光景です。



趣向を凝らしたクラスTシャツ

どの種目も白熱しました！

小泉政務官が来てくれました

7月9日、小泉進次郎復興大臣政務官(兼内閣府大臣政務官)が来校し、阿部拓人生徒会長はじめ代表生徒と交流しました。本校の防災・減災への取組について、国連防災世界会議などの様子を交えて説明しました。また、震災の前後で行動がどのように変わったか、生徒と懇話的に話をされ、若い力が復興の力となり、将来の社会の核となるという期待を寄せていただきました。



授業の様子も見ていただきました。



本校制作の波高標識を手に、交流会のメンバーと記念撮影。

JAXA連携・特別授業

7月14日、2年生2クラスを対象に宇宙航空開発機構(JAXA)との連携授業が行われました。地球観測研究センター開発員の木真人氏と宇宙教育センターの二ノ宮裕美氏を講師としてお迎えし、人工衛星やそこから送られてくるデータの処理技術の歴史についての講義や、画像処理・解析ソフト「EISEI」を使用した実習を行いました。

伊藤いずみ

(2年4組 多賀城中出身)
人工衛星の写真を使うことで地球表面の温度が分かることに驚きました。これは地球温暖化などの問題の解決に有効だと思いました。普段はあまりなじみのない人工衛星ですが、その他にも、身の回りのいろいろなものに使われているのだと思いました。

鈴木理子 (2年5組 向洋中出身)

衛星の写真が赤・青・緑の3枚の写真の合成でできているということや、パソコン上で自分でも簡単に操作できてしまうことに驚きました。宇宙にあるもののデータが地球に送られるなんてとても不思議なことでしたが、先生のお話で何となく仕組みが分かったような気がします。

家庭科特別授業

「災害時の保育」について



7月16日、石巻在住の佐々木有香子さんを講師としてお招きし家庭科の特別授業が行われました。佐々木さんは震災の混乱も収まらない石巻赤十字病院で、3月17日に元気なお子さんを産みました。そのときの経験はメディアにも取り上げられています。

加藤里奈 (1年1組 鹿島台中出身)

佐々木さんは本当に大変な状況の中で出産したのだなと思いました。病院の中では亡くなった人がいるすぐ隣で出産し、泣いている声と産声が一緒になっていたというのが印象的でした。大変な出産だったのに少しも弱音を吐かずに頑張ったのがすごいなと思いました。

